

ファジル・サイ ピアノリサイタル

クラシック
主催 10/21 (火) 大ホール 全席指定 開場18:30 開演19:00
S席6,000円(ペア5,500円×2枚)
A席4,500円(ペア4,000円×2枚)
発売中



演奏プログラム
(予定)
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 op.27-2「月光」
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第32番 ハ短調 op.111
サイ: ゲジバーク2(ピアノ・ソロのために)
サイ: ~5つのバラード~
サイ: ~ジャズ・ファンタジー~

鬼才!天才!ファジル・サイ!いままでにないピアニストの演奏を聴くチャンス!

CDでは聴けない、北上公演でのインプロビゼーション
様々な音楽を吸収し、即興演奏を取り入れたファジル・サイの演奏スタイルは、クラシック音楽の領域を超えて聴衆を魅了します。ジャズの演奏の場合は、通常ピアノ、ベース、ドラムの基本スタイルで演奏されますが、ファジル・サイの場合はピアノ一台、超絶技巧を持って演奏します。その演奏は、北上公演のみの演奏となり、二度と再演出来ないその場限りのインプロビゼーションとなります。

ピアノリサイタルは全国で4か所のみ
ツアーは、全国で8公演、その中でピアノリサイタルは4か所のみ。ファジル・サイは、オーケストラやアーティストの共演も魅力的ですが、ファジル・サイのピアノの世界が十二分に堪能出来るのは、何と言ってもピアノソロでのコンサートです。東北は、唯一北上のみの開催となる貴重なコンサートです。是非いままでのクラシックの世界では体験したことのないファジル・サイならではの生演奏を存分にお楽しみください。

※インプロビゼーション=即興。型にとらわれず自由に思うままに作り上げる演奏。

正当なクラシック音楽の演奏も魅力!

作曲家がその曲に込めた想いも想像しながら、忠実に再現するクラシックの王道をゆく完璧なテクニックを持ち、且つ情緒あふれる演奏が、ファジル・サイのもう一つの魅力です。今回のプログラムでのベートーヴェンの劇的な世界が、息をのむ深さと美しさとともに姿を現します。自由奔放の演奏とのギャップに驚愕することでしょう!



(C)Marco Borggreve

ウィーン・ヴィルトウオーゼン スペシャルコンサート

クラシック
主催 11/9 (日) 大ホール 全席指定 開場15:00 開演16:00
S席6,000円(ペア5,500円×2枚)
A席5,000円(ペア4,500円×2枚)
A席学生3000円
発売中



演奏プログラム
(予定)
モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲
R.シュトラウス: 交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快なはずら」
J.シュトラウス2世: ワルツ「春の声」作品410
ボルカ・シュネル「浮気心」作品319他

名門ウィーン・フィルの首席奏者を中心に編成されたスーパー・アンサンブル。

弦楽器5人と管楽器5人の絶妙なテンポ・バートリズムの力、ウィーン情緒たっぷりの歌いまわしなどを満喫できます。本場さながらのお洒落な雰囲気やウィンナ・ワルツの躍るリズムは、まさにソリストの集団だからこそできる名人芸です。東北ではさくらホールだけのスペシャル公演。ぜひ生の音を体感してください。

だから、ウィーン・ヴィルトウオーゼンは素晴らしい!



ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の主要メンバーが中心となって結成された室内アンサンブルで、首席クラリネット奏者エルンスト・オッテンザマーが創立したアンサンブル。古典派から現代曲までの小編成の室内楽、さらに協奏曲や交響曲など、どんな曲でも自分たちのものにして、最高を演奏するアンサンブルです。彼らは大多数がウィーン・フィルの正団員として活動しているわけですが、ウィーンフィルは音楽監督を置かずメンバー自身が楽団を運営し、指揮者のセレクトも行う楽団。毎週定期演奏会もあり、海外公演もあり、かなり忙しい、ハードな楽団です。しかし多忙のなか彼らは自分たちが理想とするスタイルを追求するため、ヴィルトウオーゼンを結成しました。さらに休みなく音楽を研究し、我々に素晴らしい音楽を届けているわけです。そんな彼らの音楽が、最高でないわけがありません!さくらホールでも、アンサンブルの真髄を聴かせてくれるに違いありません。



リラックスして聴くすてきなクラシック きたかみサロン音楽会2014 (3回シリーズ)

クラシック
主催 12/10 (水) 小ホール 開場18:30 開演19:00
一般1,500円 高校生以下1,000円
発売中



あとから割引
vol.1 平野花子ハーブコンサートをご購入のお客様は残り2公演セットを2,000円でご購入いただけます。

「神の楽器」トロンボーンの魅力

伸縮自在の音色
トロンボーンは暖かく、聴く方が包み込まれる様な優しい音色を奏でる事が出来ます。また、唯一スライドを伸び縮みさせて音程を変える金管楽器です。音程を連続的に変えられるので、表情や表現の幅が広く、壮大なファンファーレでも、甘い旋律でも得意とします。

昔の名前は「剣を引き出す」?
昔は、「サクバット」と呼ばれていました。これは「剣を引き出す」という意味で、管の長さをスライドで変えるところが剣を鞘から抜き出す動きに似ていたからこのような呼び方をされたのだらうといわれています。現在の「トロンボーン」という名前は「大きなラッパ」の意味で、これはもともとトランペットを意味する言葉。トロンボーンとトランペットは、同じ先祖を持つ親戚のような関係にあるわけです。

トロンボーンは神の楽器?
トロンボーンは、15世紀中頃に生まれさまざまな場所で広く使われていたのですが、18世紀ころから教会など、宗教的な場で活躍することが多くなりました。人間の声の音域に近く、合奏によって荘厳なハーモニーを奏でるトロンボーンは、「神の楽器」として扱われるようになったのです。

演奏プログラム
(予定)
バラード: E.ボザ
交響的断章: A.ギルマン
ノクターン: F.シュトラウス
無伴奏チェロ組曲より: J.S.バッハ

TAO DRUM ROCK 続・十七人のサムライ

ショー
共催 10/30 (木) 大ホール 全席指定 開場18:30 開演19:00
6,000円(ペア5,500円×2枚)
U-25(25歳以下限定)3,000円
発売中



世界20カ国・400都市。観客動員数は600万人に迫る 最先端・最上級のドラム・アート・パフォーマンス

演者の鍛え上げられた肉体から放たれる魂のビートは観者の視覚、聴覚を徹底的に刺激します。和太鼓だけでなく、三味線、琴、篠笛など日本の伝統的な楽器を用いながら、パフォーマンス、舞台美術など、今までの和太鼓の概念を覆すステージを繰り広げます。かつてどこにもなかったエンターテインメントへ挑戦し続ける、TAOだからこそ生み出せる「唯一無二」の舞台をお楽しみに!



世界をつなぐサムライ達の強い絆。

9月20日、めんこいテレビにて放送されたTAOの特集番組は、TAOの魅力が凝縮された番組でした!TAOは公演の手直し・リハーサルは誰よりも綿密に行います。会場の規模や観客の層によって大幅に内容を変更することも珍しくないそうです。曲の内容やパフォーマンスはもちろん、あらゆる部分にプロデューサーが厳しくチェックしていく。その厳しさも、常に最高のものを追求する故なのだと思います。2月に行われた北米ツアー、そこではなんと10週間で48会場もめぐっています。海外ならではの苦労も多いようですが、公演後の最高に熱いスタンディングオベーションは感動でした!「エクセレント!」「ファンタスティック!」の声に、同じ日本人として胸が熱くなりました。TAOは豊かな自然に包まれた阿蘇くじゅう国立公園の中央に「TAOの里」を建設し、メンバーはそこで暮らしながら音楽や舞台美術、衣装など自らが制作し、独自の世界を創り続けています。昨年入団した新入生と準レギュラーメンバーへ対するオーディションの様子が放送されていましたが、粗削りながらも懸命に演奏するメンバーに、プロデューサーの目には涙が光っていました。「本当に頑張った」その言葉と、厳しく教えていたからこそこみあげてくる思いに、こちらも涙、涙。TAOのパフォーマンスの素晴らしさは、ここから生まれているんですね!TAOの素顔が、原点が描かれたステキな番組でした。この鍛え抜かれたアーティストたちが、まもなくさくらホールにやってくるんです!もう、ワクワクがとまりません!

劇場体験型ナゾ解きゲーム さくらぼる the ツアー 『消えた衣裳をさがせ!』

ナゾ解き
主催 10/5 10/13・14 (土) (日) 13(土) ①11:00~12:30 ②14:30~16:00 ③17:30~19:00
14(日) ④11:00~12:30 ⑤14:30~16:00 ※開場は各20分前
中ホール 日時指定 一般2,500円 ペア2,000円×2枚 高校生以下1,000円
※ゲームの性質上、スタート後のご入場はできませんので、開始時間に遅れないようご注意ください。
※このゲームでは、劇場中の階段を上り下りすることがあります。動きやすい服装でお越しください。
また、ホールのある靴でのご参加はご遠慮ください。
※ご参加にはお一人様につき一枚チケットが必要です。また、未就学児のご入場はできません。

劇場へきてみませんか? 劇場×ナゾ解きゲーム! 大人の知的遊び的新感覚ボックスステージツアーへようこそ!

さくらぼるtheツアーとは
ドキッとしたり、ハッとひらめいたり参加者自らが劇場中に隠されたヒントを見つけ出して謎を解き、「何か」を探る参加型事業です。暗号を解きながら普段は入れない秘密の場所を探したり、客席・ホワイエから舞台裏まで、さくらホール中歩き回ってください。時には、舞台上で作業中の舞台技術スタッフに出くわすこともあるかもしれません!必要なのは、みなさんの勘やセンス、そして推理力。

ナゾ解きのワクワク感とともに、新しいさくらホールを見つけてください。



加藤直明(トロンボーン)
大室晃子(ピアノ)
注目の曲は?
美しいハイトーンがまるで歌っているかのようなボザのバラード、シュトラウスのノクターン。上品な雰囲気と広い音域で体中を包み込む名曲、ギルマンの交響的断章、弦楽器でも難しく、トロンボーンではさらに高い技術が要求されるバッハの無伴奏チェロ組曲など、どれもトップクラスの技術を持った加藤さんだからこそこの名曲ぞろいです。ホールいっぱい響きわたる豊かで柔らかな音を堪能してください。

Vol.3 新崎誠実 色彩のピアノコンサート

出演: 新崎誠実(ピアノ)
2015 1/24 (土) 開場18:30 開演19:00
小ホール 一般1,500円 高校生以下1,000円

ピアノの音に自然の情景を感じる瞬間
数ある楽器の中で最も身近なピアノ。あの大きな黒い箱から豊かな色彩や自然の情景が鮮やかに躍り出るのを感じたことがありますか? 新崎さんの演奏は曲に込められた情景を鮮やかに描きます。お話とともに楽しみください。